



か も し ょ う ぼう 可 茂 消 防

第158号

令和7年 11月1日
発行

可茂消防事務組合 公式ホームページ <https://kamo-fire.jp/>



南消防署救助隊

第53回 消防救助技術東海地区指導会に出場!
応援ありがとうございました!



可茂消防事務組合公式SNS



公式
Instagram



公式
X (旧Twitter)



公式
ホームページ

中消防署特別救助隊

令和7年10月1日から全国一斉開始しました。



「もしも」のときに! マイナ救急

マイナ救急とは、救急現場において救急隊員が傷病者のマイナ保険証を活用し、医療情報の確認や搬送先医療機関の選定などに役立つ情報を把握することにより、救急業務の円滑化を目指す取組です。

通常、これらの情報は、傷病者本人や家族から聞き取りますが、病気やケガで苦しんでいる本人や、気が動転している家族が救急隊員に正確に情報を伝えることは難しい場合があります。こうした場合に、救急隊員が専用端末を使い、傷病者のマイナ保険証から医療情報を閲覧し、円滑な搬送先医療機関の選定や、より適切な救命処置を行うことに活用します。

必要な準備

マイナンバーカード
の取得



マイナ保険証
の登録



外出時に
マイナンバーカード
を携帯する

救急搬送の約4割は
外出先で発生!

マイナ救急の流れ

119番通報時

指令員が通報者に対して
マイナンバーカードの準備
を依頼



救急現場

傷病者(ご家族)が情報閲覧
に同意し、マイナンバー
カードを渡す。



救急隊がマイナ保険証を
カードリーダーで読み取り、
医療情報を閲覧する。



円滑な搬送先医療機関の
選定や適切な救命処置に
活用。
搬送先医療機関で治療の
事前準備ができる。



活用事例

有効であった事例を
紹介します!



□外出先で意識障害を起こした事例 (適切な処置につながったケース)



年齢・性別 60歳代 男性

傷病者の状況 意識がはっきりしておらず、会話が困難な状態。

救急隊の活動内容

なぜ意識障害を起こしているかわからない状況であったが、傷病者が所持していたマイナ保険証から医療情報を確認したところ、病歴として糖尿病があることが判明、低血糖状態を疑い、ブドウ糖を投与しました。搬送中に意識障害が回復し、病院到着時には会話可能な状態まで回復しました。

□心肺停止状態から蘇生した事例 (一命を取り留めたケース)



年齢・性別 70歳代 男性

傷病者の状況 傷病者が勤務する事業所で心肺停止状態。
同僚が通報したが、傷病者の病歴や服薬情報などは把握していなかった。

救急隊の活動内容

救命処置と並行して、マイナ救急により、既往歴で脳梗塞、高血圧、大動脈疾患があることや服薬情報等を確認し搬送先病院に伝えました。
マイナ救急で病歴や服薬情報等を医療機関に伝えることで早期に緊急手術を行うことができ、一命を取り留めることができました。

【よくある質問】

Q 救急隊員に救急活動に関係ない個人情報も見られてしまうの?

A. マイナ救急に使用するシステムで救急隊員が閲覧できるのは、カード面上の氏名や住所等と受診歴や服薬情報などの医療情報だけです。また、タブレット端末やカードリーダーには情報が記録されることはありません。

あなたの命を守る
マイナ救急



人事行政運営状況に関する公表



人事行政の運営における公平性と透明性を高めるため、「可茂消防事務組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づいて、職員の任免・給与・服務等について公表します。ここに示した数値は特に記載があるもの以外は、令和7年4月1日現在のものです。(令和7年8月1日公表)

1. 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員の任免状況

採用者数(令和7年度)	退職者(令和6年度)	職員数
26人(再任用職員含む)	11人	284人

(2) 採用試験の実施状況(令和6年度)

職種	申込者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率(A/B)
消防職	92人	79人	23人	3.4倍

2. 職員の人事評価の状況

人事評価方法

実施期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
評価基準日	中間評価9月30日 期末評価12月31日
対象者	全職員
評価の方法	項目ごとに5段階で評価

3. 職員の給与の状況

(1) 人件費の状況(令和6年度会計決算)

歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)	前年度の人件費率
3,088,912千円	2,032,935千円	65.8%	76.8%

(2) 職員給与の状況(令和6年度会計決算)

職員数(A)	給与(千円)				一人当たりの給与(B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
271人	969,957千円	221,185千円	402,418千円	1,593,560千円	5,880千円

(3) 職員の初任給の状況

	可茂消防事務組合	国
大学卒	220,000円	220,000円
高校卒	188,000円	188,000円

4. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 毎日勤務職員の勤務時間及び休憩時間(令和6年度)

開始時刻	終了時刻	休憩時間	1日の勤務時間	1週間の勤務時間
8:30	17:15	12:00 ~ 13:00	7時間45分	38時間45分

(2) 三部制による交替勤務職員の勤務時間及び休憩時間(令和6年度)

開始時刻	終了時刻	休憩時間	夜間勤務時間	1日の勤務時間	1週間の勤務時間
8:30	翌日 8:30	12:00 ~ 13:00 17:15 ~ 18:45	22:00 ~ 翌日7:00を 3交替で勤務	15時間30分	38時間45分

(3) 職員の年次休暇取得状況(令和6年)

	毎日勤務者	交替勤務者	全職員
平均取得日数	8.4日	11.1日	10.4日

5. 職員の分限及び懲戒処分状況

	分限処分	懲戒処分
令和6年度	1件	2件

6. 職員の服務の状況

営利企業等従事許可申請の状況

	申請件数	許可件数
令和6年度	6件	6件

7. 職員の研修の状況(令和6年度)

(1) 岐阜県消防学校入校状況

教育訓練の種別	人員
総合教育 (初任教育救急科)	13人
専科教育	5人
幹部教育	1人
特別教育	98人

(2) 消防大学校入校状況

学科	人員
警防科	1人

(3) 救急救命研修所入校状況

研修機関	人員
東京研修所	3人
九州研修所	2人

(4) 救急救命士病院研修状況

研修機関	人員
救急救命士就業前研修ほか	延べ105人

8. 職員の福祉及び利益の保護の状況(令和6年度)

(1) 健康診断受診状況

健康診断の種別	受診者数
年代別総合健康診断	270人
夜間勤務者一般検査	226人

(2) 公務災害の発生状況

区分	災害件数
公務災害	2件

(3) 措置要求及び不服申立ての状況

区分	件数
勤務条件に関する措置要求	0件
不利益処分に関する不服申立て	0件

※詳細については、公式ホームページをご覧ください。



秋の火災予防運動



11月9日～
11月15日

令和7年度全国統一防火標語
「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

この火災予防運動は、火災予防思想の一層の普及を図ることで、火災の発生を防ぎ、万が一火災が発生した場合でも被害を最小限にとどめ、火災から尊い命と大切な財産を守ることを目的としています。

令和7年9月末現在の可茂消防管内の火災発生件数は75件です。そのうち、住宅や工場などの建物火災は、30件発生しています。枯れ草焼却などのその他の火災は38件発生しています。例年、夏季は冬季と比較し、火災は減少する傾向ですが、今年は過去10年のなかで最も多い火災件数となりました。

これから、空気が乾燥し火災の発生しやすい時季を迎えるとともに、暖房器具等の火気の使用が始まることから、火災予防に万全を期するようにしてください!



田畑での焼却中に延焼する火災が多発しています!



田畑での焼却中に延焼する火災が多発しています。特に、【目を離したすきに火が広がった】という事例が多数を占めています。住宅や車両に延焼する事例もありました。また、山林に延焼すると地形等の影響から消火が困難なことが多く、広範囲に被害が拡大するおそれがあります。地域の安全・安心を守り、住みよい街にしていくために、次の点に注意しましょう!

- ☑ 風の強い日や乾燥時には火を使わない。
- ☑ 消火に十分な水や消火器を準備する。
- ☑ 焼却中はその場を離れない。
- ☑ 焼却後は完全に消火を確認する。



放火対策

可茂消防管内では、放火・放火の疑いによる原因の火災が令和5年から令和7年8月の間に12件発生しています。

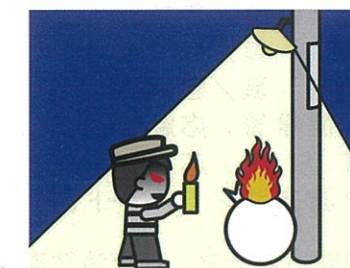
放火を防ぐために、次のことに気をつけましょう。

1. 環境整備

- ・住宅付近に人感センサー付きのライトなどを設置し死角になる場所を減らしましょう。
- ・地域内で声を掛け合い可能であればパトロール等を行いましょう。
- ・空家には簡単に侵入できないようにバリケード等で侵入対策を行いましょう。

2. 可燃物の整理

- ・地域内のごみ出しルールを徹底しましょう。
- ・お互いに可燃物を放置しないように呼びかけをしましょう。
- ・枯草や不法投棄など火をつけやすいものを見つけた場合は、関係機関へ連絡しましょう。



3. 火災時の対応

- ・いざという時に延焼拡大を阻止するため、家庭用の消火器や地域に設置されている消火器の位置を確認しておきましょう。
- ・地域で行う防災訓練に参加し、消火時の行動や不審者の情報を共有しましょう。
- ・消防車のサイレンが聞こえてきたら灯りを点けたり窓を開け怪しい行動をとっている人がいないか確認しましょう。

住民の皆さまのちょっとした注意が大きな火災を防ぎます。ご協力をお願いします。



令和7年度



防火ポスターコンクール結果発表

火災予防啓発活動の一環として、防火意識の高揚を図ることを目的に可茂消防管内の小学4年生から中学3年生までの児童・生徒を対象とした防火ポスターコンクールを行いました。

小学校22校、中学校11校から合計169作品の応募があり、識見者による厳正な審査の結果、金賞・銀賞・銅賞・入選の各賞が決定しました。その中から特に優秀と認められた2作品を岐阜県少年消防クラブ運営指導協議会に出展したところ、岐阜県議会議長賞、一般社団法人岐阜県消防設備協会会長賞を受賞しました。

今回受賞された作品をもとに、可茂消防で防火ポスターを作成し、管内の公共機関や事業所などに配布することで、火災予防の啓発に役立てていきます。

岐阜県議会議長賞



可児市立東可児中学校2年
いとう かえで
伊藤 楓さん



一般社団法人岐阜県消防設備協会会長賞



御嵩町立御嵩小学校6年
いなぎ そうま
稲垣 壮真さん



救命講習開催のお知らせ

私たちは、いつでもどこで突然のケガや病気におそわれるかわかりません。寒い時期には、ヒートショックなどによる心停止が増加します。もし倒れている人を見つけた時、あなたならどうしますか。命を救うには、そばにいる人(あなた)がすぐ応急手当を行なうことが必要です。今回、南消防署では下記のとおり救命講習(講習後、修了証を交付します)を開催します。

この機会にぜひ参加してみてください。

- 開催日時**／第3回 令和7年11月9日(日) ・第4回 令和8年2月15日(日)
両日とも ◎1部:10時00分～11時00分 ◎2部:13時00分～14時00分
- 開催場所**／可児市下恵土5629-1 南消防署 3階大会議室
- 内容**／心肺蘇生法、AED操作方法、窒息の対応(異物除去)、止血法
- 受講料**／無料
- 定員**／各部10名程度(定員になり次第締め切ります)
- 服装**／軽い運動ができる服装
- 事前学習**／応急手当WEB講習をQRコードから受講(講習の1か月前以内に受講必要)
- 持ち物**／応急手当WEB講習受講証明書(印刷、スクリーンショットまたは写真)
- 申請方法**／QRコードを読み取り、スマートフォンで回答してください。

■問い合わせ先／可茂消防事務組合 南消防署 ◎担当／救急係 ☎:0574-62-0119



応急手当
WEB講習用



申請フォーム

☞ 広報紙掲載記事について、ご意見・ご要望等ございましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

■発行／可茂消防事務組合消防本部 〒505-0044 岐阜県美濃加茂市加茂川町三丁目7番7号
■編集／総務課企画広報係 TEL 0574-26-0144 FAX 0574-25-4899

(電話受付は土・日曜日・祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで)



この広報は再生紙を使用して、地球に優しい大豆油を使用したインキで印刷されています。